

伴委員の出張報告

令和5年5月10日
原子力規制庁

1. 趣旨

本議題は、伴委員が令和5年4月25日から27日の間、フランスに出張した結果について報告するものである。

2. 結果概要

伴委員（4月25日から27日出席）は、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）の常設委員会である原子力規制活動委員会（CNRA: Committee on Nuclear Regulatory Activities）に設置された「リーダーシップ及び安全文化ワーキンググループ（WG L S C※: Working Group on Leadership and Safety Culture）」の第1回会合に出席し、議長を務めた。

WG L S Cの第1回会合は、令和5年4月24日から27日の4日間においてフランス・パリで開催され、議長である伴委員の他、我が国を含めて計14か国・機関が参加した。

参加者は、WG L S Cに改編前の安全文化ワーキンググループ（WG S C）で議論されていた1）安全文化に関する規制機関と事業者間の相互影響及び2）リーダーシップについて、最終の報告書策定に向けた議論を行った。

次回は、第2回WG L S C会合が、今年10月に開催される予定である。

※原子力規制機関自身や事業者等の関係者の中で健全な安全文化を育成及び維持するための実践的な手法等を議論するために、CNRAに設置されたワーキンググループ

以上